

報道関係者 各位

2022年6月17日
国立大学法人 東京農工大学科学博物館
合同会社 AMANE

東京農工大学科学博物館

デジタルアーカイブ「繭標本・生糸・真綿」資料の公開

東京農工大学科学博物館（東京都小金井市、館長：金子敬一）では博物館5ヵ年計画にデジタル化によるリニューアルを据え、蚕糸学術コレクションのデジタルアーカイブ化に着手しています。合同会社 AMANE（石川県金沢市、代表社員：堀井洋）との連携協定事業として、「蚕織錦絵」のデジタル化とジャパンサーチへの公開を実施しましたが、第二弾として、「繭標本・生糸・真綿」の公開を行います。本学工学部に残された蚕糸科学領域の教材資料群が公開されることで今後、自然・人文科学領域横断型の研究発展が期待されます。

特に今回公開する「繭標本」は本学工学部の前身である東京蚕業講習所由来の教材資料群であり、世界各国の品種、国内品種が349点収蔵されています。日本の蚕糸業の技術革新において、メンデルの法則の再発見直後の1906年に外山亀太郎が動物で初めてメンデルズムをカイコで実証し、同時に一代交雑種を提唱したことから、農家において交雑種の飼育が急速に普及しました。本資料は同時代に東京蚕業講習所で品種改良の研究・教育に用いられた繭標本です。デジタル公開により、国内歴史資料・文化財調査の手がかりとして、品種改良への遺伝学的知識の需要の過程を知る科学技術史的資料として、今後の研究活用が期待されます。

デジタルアーカイブ公開に合わせ6月24日から8月31日まで今回アーカイブ化した資料の一部を博物館内にて公開いたします。

デジタルアーカイブ「繭標本・生糸・真綿」の公開

・蚕糸学術コレクション

繭標本	349 点
生糸	136 点
真綿	44 点

・公開開始

2022年6月17日(金)

・東京農工大学科学博物館デジタルアーカイブ蚕糸学術コレクション URL

<https://archives.tuat-museum.org/>



東京農工大学科学博物館デジタルアーカイブ蚕糸学術コレクション



繭標本コレクションの閲覧画面

東京農工大学科学博物館での展示

- ・ 公開期間
6月24日(金)～8月31日(水) 10:00～17:00 (入館は 16:30)
- ・ 休館日
月曜・日曜・祝日
※休館日は変更の可能性があります。
博物館ホームページでご確認ください。
- ・ 会場
東京農工大学科学博物館 1F 教育研究展示室
- ・ 入館料
無料



◆本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学科学博物館 特任助教
 齊藤 有里加 (さいとう ゆりか)
 TEL : 042-388-7161
 E-mail : kahaku@cc.tuat.ac.jp
 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16
 東京農工大学科学博物館ホームページ <http://www.tuat-museum.org/>

合同会社 AMANE

E-mail : info@amane-project.jp
 合同会社 AMANE ホームページ <https://amane-project.jp/>